

県内初の公開事業承継

芦北町商工会 氏名 城本和弘

事業者名：(有)N THREE

業種：宿泊業



夕凧館

担当者コメント

事業者名を公表して後継者を募る「オープンネーム」方式での成立事例は県内初となります。

支援テーマ

	創業
	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
<input type="radio"/>	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
	持続化補助金
	その他

支援前の課題

【企業概要】

(創業) 2003年6月

(代表者の年齢) 40歳

(現状分析)・強み 譲受側の3兄弟の絆

- ・弱み 全く経験のない異業種への参入
- ・機会 災害からの復興
- ・売れ筋商品・顧客ニーズの把握

観光による復興の取り組み、観光資源豊富な芦北町の魅力再発見

- ・競合する店舗等

ホテルAZ

7年ほど休止状態であった会社の経営陣と社名を一新し令和4年5月より再開。

今回、事業譲渡で宿泊施設夕凧館を令和4年10月より運営する予定。芦北町に住んでおり、豪雨やコロナの影響で居住者の転出と来訪者の減少は地域の活力と地元業者の経済基盤の減衰につながりかねないと危惧していた。弊社(有)N THREEでは、そのような現状を何とか打開したいという思いで、休眠していた会社(有)前田産業)の事業目的を変更する形で令和3年から準備を始めていた。

【支援課題・支援計画】

(支援課題) 令和2年7月豪雨からの復興

(短期計画) 第三者への事業承継

(中長期計画) 補助金を活用した業態変化による創業支援

支援内容

フェーズ1 令和2年7月豪雨からの復興支援

令和2年7月豪雨により芦北町の多くの家屋、事業所が被害を受け、町を離れる家庭や事業者が増えました。また新型コロナウイルス感染症の影響で人の動きが停滞しました。有限会社NTHREE代表の前田さんは、このような現状を何とか打開したいという思いで観光による復興の取り組みを始めました。

フェーズ2 第三者からの事業承継

ベイサイド芦北で簡易宿泊施設「夕凧館」を営んでいる方が、体力面等を考慮し、この民宿施設を譲りたいと考えていました。そこで商工会の事業承継マッチング支援により夕凧館の後継者の募集を行い、最終的に観光事業で宿泊を拠点とした復興を考えていた(有)NTHREEとマッチングが成立しました。

フェーズ3 業態変化による創業支援

熊本県リボーン補助金活用による他業種（リサイクル業）から宿泊業への参入

観光客の集客や観光客と地元民へ向けた「地域を知り楽しむための」プラットフォームづくり

1.自然環境と街中の紹介及びアクティビティ(※)の提供

(※)レンタサイクル、マリンアクティビティ（SUP・カヤック）、ヨガ、キャンプ

2.地元事業者間の連携を図る活動の企画

3.地元と地域外との接点が生まれる活動の企画（例：社員研修、学生サークル合宿の受け入れ）

(進捗・成果)

現在の状況としては被災復旧工事関係者が利用しており、平日は満室状態です。逆にコロナの影響もあり休日の利用が少ない状況にあります。将来の展望として観光客・地元民に対する認知度を上げるためサイト掲載や広報を強化し、集客増を図っています。町の自然や歴史を感じられる宿泊拠点（空き家の活用）を増やすことで、農業体験や収穫体験、観光協会との連携など、宿泊と地域との交流を提案することで町の魅力を高める事業展開を計画しています。



事業者様の声

将来の展望について、町の自然や歴史を感じられる宿泊拠点として農業体験や収穫体験、観光協会との連携など、宿泊と地域との交流を提案して芦北町の魅力を高めていきたい。

取組の中で、おすすめしたい自社のアピールポイント

観光客の集客や観光客と地元の人々へ向けた「地域を知り楽しむための」プラットフォームを併設し、自然を活かした活動や街中の紹介（観光協会と連携）を行います。

